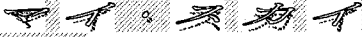


子ども会（学習会）だより

MY SKY No. 32



1998年2月10日火曜日発行(毎週火曜日子まぐれ発行)

発行者

板野中学校

学習会

編集・文責：吉成正士

私、土手を車で走ってて、いつも思うことがあります。「どうして土手には雑草が生えるんだろう……」って。いえいえ、種があつて根もあつて、そこに水やお日さまから力をもらって……っていうことはわかるんですよ。でもそれが私には、「自然のささやかな人間への抵抗」のように思えてならないのです。土手の土の中にある養分を取り入れて、雑草はザワザワと競うように生えます。そして生えた雑草は、1年に何回か刈られたり、燃やされたりしています。これを繰り返すことで、土手はどんどんやせ細り、すり切れていきます。すなわち、年月をかけた自然の抵抗のように思えるのです。そこへ人間は、また土手の補強のために土を盛る……。確かに私たちの生活も守らねばなりません。でも、必要以上に補強をする必要もないと思うのですが……。

みなさんは第十の堰の問題についてはどう思っていますか？ 私たち板野の住民には、遠くの問題ではなく身近な問題ですよ。板野東小学校の上田先生が、この問題についてのホームページを作っています。見られる人は、ぜひごらんになってください。先にも書いたように、私たちの生活を守る最低限の補強は必要だと思います。でも、必要以上のものはいりません。みなさんは第十の堰改築についてどう思いますか？

あったかい日は第十の堰に遊びに行こう！！



☆ みんなで着よう！人と地球にやさしい「機 百番目のTシャツ」のシャツ！

「早く水門開けて」

日本ペンクラブ 諫早問題で声明

日本ペンクラブ（梅原猛会長）は五日、長崎県諫早市の干拓事業問題について東京都内で緊急記者会見し「政府は、一日も早く水門を開放し、国民的な議論であらためて考えるべきだ」として事業見直しを求める声明を発表した。

環境問題で日本ペンクラブが声明を出すのは初めてで、声明文の作成は、作家の井上ひさしさんと森詠さんが担当。「堤防の突然の閉め切りに、深い悲しみと強い憤りをもって抗議してきた『美しい日本』の自

然を、これ以上、破壊し、荒廃させることを黙過できない。『いったん、決めたものは後戻りできない』という官僚や行政の硬直性は断然、改められるべきだ」などとしている。

同クラブでは、八月に英国で開かれるペンクラブの国際大会で声明を紹介するほか、橋本竜太郎首相や藤本孝雄農相に届けることを検討している。

梅原会長は「これまでは人権問題についての発言が主だったが、自然が破壊された時の人間は空虚だということが分り始めた。今後は自然破壊についても真正面からものを言う」と述べた。

以前このMY SKYにも載せましたが、阪神・淡路大震災をきっかけにして設立された「^{せつりつ}（株）百番目のTシャツ」。設立当初に比べ、ずいぶんとシャツの種類も増えてきました。かわいらしいシャツや、^{ゆうきのうほう}有機農法、^{てんねんそざい}天然素材で作られた「人と地球にやさしい」^{ななど}シャツ等々・・・。その新しいパンフレットの中に、大変興味深い文章がありましたので、ぜひみなさん読んでみてください。また、このシャツに興味ある方は、私の方までご一報ください。

^{わたし} 私たちが ^{ちきゅう} 地球のために ^{できること} できること

私たちはチブコとよばれている。

チブコというのは“抱きつく”という意味。

私たちは木が切られるとき、木が切られないように木に抱きつく。

そして木と共に切られて、すでに200人の仲間が死んだ。

いま、私たちの森にあなたがたの国からたくさんの人が来て、

たくさんの木を切り、たくさんダムを作ろうとしている。

ダムができると森が沈み、私たちは生きていけない。

このようなことが二度と行われないように、私たち10万人の

チブコは水に沈む覚悟をした。

はっきり言う。よく聞いて欲しい。

私たちは決して貧しくない、私たちは豊かな。

私たちは何も欲しくない、ダムも電気もお金も。

あなたがたは変わった。

あなたがたは経済という宗教に取り付かれてしまった。

あなたがたの神様は、金の開き物、神は金に神格化。

私たちは闇を求めた。

闇を求めたが、闇は闇のままに居る。闇を越えよう。

永遠の生命と命を失う。

それに少しの土地と少しの水、そして少しの道で十分なのだ。

命をお金に換えるのではなく、命を命で救うことだ。

貧乏は欲の中にあり、豊かさは欲を放すことだ。

あなたがたはどうしてそのあたり前のことを忘れてしまったのか。

あなたがたはどこに行くのか。

この文章は、1992年モントリオール国際会議での、インド代表のスンデリアル・バフグナ氏の講演です。この方は、日本のODAで推進される「ナルマダ溪谷開発計画」反対運動の指導者です。この計画により250の村と10万人の人々が水の底に沈むことになるそうです。何度も断食による抗議（非暴力抵抗運動）、昨年末には74日におよぶ断食を遂行されました。「テリダム建設反対キャンペーン」では、私たちはNafsha（ナフシャ：百番目のTシャツが経営するバリヤーフリーの喫茶店）にて募金を募り、JEE（バフグナ氏の活動拠点）に送らせていただきました。私たちにできることはこのように、ほんの小さなことにすぎません。しかし、バフグナ氏や高木達之氏（地球村代表）をはじめ、「美しい地球を子どもたちへ」引き継ぐために、超人的な活動を、にこやかに続けられている方々が世界中にはたくさんおられます。私たちも、仕事のなかで、日々の暮らしの中で、こんなに傷つけてしまった地球のために、できることをできるだけして行こうと決心しています。



なんか今回は、自然・環境についての特集号のように



森田 純

な保水力を持ち、ダム役
割をばたしてくれていま
す。

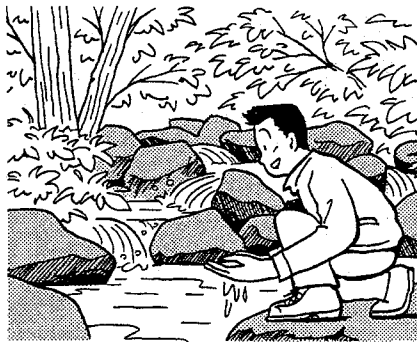
今や世界道
産とも伝えら
れている白神
山地を覆うブ
ナ原生林の
樹木の緑は、火災のときに
延焼を防いだり、防風林の
役割をしてくれる上に、日
陰や涼しさを
醸し出し、人
々に安らぎを
与えてくれます。

緑の森

国立公害研究所の研究に
よると「首都圏内の大気中
の二酸化炭素を浄化するに
は、緑地を今の十倍の三五
％に増やす必要がある」と
報告していますが、地方の
都市でも三〇％ぐらいの緑
があれば、きれいな空気に
なるでしょうね。

緑の森は空気をきれいに
してくれるほかに、大き
な保水力を持ち、ダムの役
割をばたしてくれていま
す。

大きな保水力を持つ



イラスト・おぜき せつこ

さらに、森の中を浸透し
てきたわき水には、植物の
生育に欠かすことのできな
い微量要素がたくさん含ま
れており、土壌の生産力維
持に大きく貢献しているの
です。

ところで、梅雨には「陽
性の梅雨」とか「陰性の梅
雨」など色々なタイプがあ
りますが、これらは梅雨の
（気象研究家）

主役であるオホソク海高
気圧と太平洋高気圧の力関
係によって決まります。
しかし、一般的な傾向と
しては、梅雨入り後しばらくの間は、しとしとと雨が
降る陰性型が多く、後半に
なると梅雨前線の活動が活
発になって、西日本を中心
に強い雨を降らせる陽性の
梅雨に変わっていきます。

なってしまうし
た。いっそのこと
もう一つ読んでも
らおうと思いき
が、これらのこと
を通して、これか
らの地球、これか
らの人類にできる
ことをそれぞれで、
また仲間同士で考
え、実践できるよ
うになりたいと思
います。

今週の木曜日に、
3年生だけの解放
子ども会が郡頭会
場にあります。み
んなで都合をつけ
て、誘い合って参

加しましょう！内容は、奨学金制度のことについてです。できれば担任の先生方や、奨学
金のことについてよくわからないという方も、飛び入り参加してください。保護者の方も
OKです！

★ ☆☆ ★★★ ☆☆☆ ★★★ ☆☆ ★

2月11日(水) 綱引き大会(13:00～；健康の館)

12日(木) 解放子ども会(18:00～19:30；郡頭教育集会所)

15日(日)～17日(火) 3年生卒業テスト

18日(水) 3年代休(徳島県公立高校出願締切日)、1・2年テスト

19日(木) 3年生を送る会(13:00～；文化の館さくらホール「マイ・フット フォーバー」)

20日(金) 「同和教育・部落問題」勉強会(19:30～；郡頭教育集会所「本館について」)

23日(月) 1年生合同地域学習(17:30～19:30；総合センター)



「子どもへ贈る私の手紙」

題「新しい自分」

私は、もうすぐ40才をむかえようとしています。

先日成人式がありました。私も、20才の時、成人式に出席したのですが、あの日から20年もたつのですね。その間に結婚して、子どもが生まれ、病気もしました。交通事故も起こしました。平凡といえば平凡なのですが、いろいろなことがあったような気がします。

今年、私は40才。第二の人生の始まりと思っています。もう、子どもは中学生です。口出しが多いときらう年頃になりました。失敗しても、それがその子の糧にもなると思い、あまり心配しないようにして、自分の人生を楽しもうと思っています。好きな映画を、映画館で月一回見ようと思っています。行ってみたい所へは、少し面倒でも行ってみようと思っています。少しは、おしゃれもしてみたいと思っています。マニキュアを塗ったこともないし、自分に似合う服の色もわからないし……。してみたいことがいっぱいです。(もちろん、心のあたたかさは忘れないようにして)

そして、これから向上しようとする自分を子どもに見せたいと思います。笑うより怒ることの多い自分を反省して。(これが一番難しいでしょうね)「40才から、お母さん変わったね」と言われるように頑張りたいと思います。

今年は、本当に40才になるということで、心が引き締まっています。39才になる友人の誕生日に、「この1年間を大切にして、キラキラした40才をむかえてください」と手紙を送りました。

40才バンザイ！新しい自分になれますように！